

## FDKグループのミッション

**「様々な形で社会に貢献できる  
エネルギーマネジメントメーカー」を目指します。**

これはかねてより掲げているFDKグループのミッションですが、まさしく、本業を通じて社会の発展とともに社会課題の解決に貢献しようとするものであり、経済価値である利益の追求と社会価値向上の双方を実現する概念である「CSV (Creating Shared Value)、共通価値の創造」に則したものであると認識しています。

FDKは1950年、マンガン乾電池の製造・販売からスタートし、培った電池材料技術をベースにフェライト(電子磁性材料)事業に進出。以来、電気化学技術、磁性材料技術、粉体技術などをベースとして材料・素材から研究開発を行ない、現在電池事業ではアルカリ乾電池、ニッケル水素電池、リチウム電池などの製品をご提供しています。電子事業では上記技術に加え、回路技術や高密度実装技術などを活用して電源トランスなどの各種電子製品を、さらには電池と電子の技術を融合したシナジー製品である蓄電システム製品まで展開しています。また開発面ではFDKの保有するCAE(Computer Aided Engineering)技術を活かし、材料・製品の開発設計初期段階からニーズに合ったご提案をすることにより、お客様の抱える課題の解決とともに、試作段階で生じる材料使用の抑制により環境負荷低減にも寄与しています。

このような取り組みにより、「手軽に購入でき幅広い用途に使用したい」、「仕事や趣味、娯楽用の機器に長くたっぷり使いたい」、「低温時の厳しい環境でも安心して使いたい」など、人々の暮らしに密着した様々なニーズに応え安心してお使いいただける電池や、医療・介護機器、防災機器、車をはじめとする移動体、通信インフラ設備などの人々の安全・安心に関わる産業機器の駆動用やバックアップ電源用電池をご提供しています。さらには停電や天災などによる緊急事態の発生時に必須であるアルカリ乾電池は、単1形～単4形までのすべてを日本で生産、迅速に供給できる体制を保有しており、また非常用電源としてニッケル水素電池を用いた蓄電システム製品もご提供しています。

電子事業においても照明器具、コンピュータ、スマートフォン、通信機器、車向けなど枚挙にいとまがない分野でFDKの省エネルギー効率製品などをご使用いただいています。これらの技術と製品の目指している所、それは私たちの生活に欠かせない電気のエネルギーを如何に上手に創り、蓄え、賢く使うかという、おそらく我々の社会にとって未来永劫のテーマであるエネルギーマネジメントという命題に対して、FDKグループならではの答えを提供し続けるということです。

## FDKグループのCSRマネジメント

FDKでは「FDKグループCSR基本方針」を制定し、その実践にあたって重点的に取り組む7つの重点課題を定めています。これらの課題への対応を通じて、国際的なCSR規範への準拠も進め、グローバル企業として責任ある経営を推進します。CSR活動の推進にあたっては、CSR推進委員会を設置し、FDKグループのCSR活動の基軸となる「FDK企業行動指針」および富士通グループの一員としてのグループ理念である「FUJITSU Way」の浸透、定着を図るとともに、新たな社会貢献事例、持続可能な社会とビジネスの在り方や7つの重点課題の対応状況の定期的なレビューを行なっています。

## 経営の基盤となるコーポレート・ガバナンスの強化

コーポレート・ガバナンスに関しては、その充実が企業の健全性、透明性の向上と株主価値の向上につながるものと考えており、コーポレートガバナンス・コードの原則を踏まえた各施策、必要に応じた経営体制・組織の見直し、必要な施策を実施しています。

コンプライアンス面では遵法を確実にするため安全衛生委員会、環境管理委員会、含有化学物質管理委員会、輸出管理委員会などを設置し、消費者課題については製品安全化推進委員会を設置するとともに、適切に取り組むための品質保証体制の充実を図っています。

FDKグループは、以上のような取り組みを通じ、「様々な形で社会に貢献できるエネルギーマネジメントメーカー」を目指すことにより企業価値を向上し続けていく所存です。

2017年6月